

やってみよう

富士川第二小中一貫校 松野学園

学校だより

目指す子供像「夢を語れる子」

学校教育目標「自ら学び ともにみがき合う」

重点目標「やってみよう！」

令和6年10月7日 No.3

1年の振り返しがやってきました

令和6年度がスタートしてから、半年が過ぎようとしています。10月11日（金）の終業式をもって前期が終了します。この半年間、学習・行事など様々なことに誠実に向き合い、「やってみよう」の精神で果敢にチャレンジし続ける子供たちの姿から、たくさんの勇気をもらいました。そして自然と笑顔にもなりました。4月の姿を思い出すと、どの学年の子供たちも確実に成長していることが分かり、嬉しく思います。そして子供たちの素敵な姿の後ろに、常に保護者・地域の皆様の温かい支えと、松野地区の豊かな力を感じています。「いつでも助けるよ。」という声が聞こえてきます。大変心強いです。ありがとうございます。

さて、前期の後半、夏休み明けからも、様々な活動を行ってきました。その中から主なものを紹介します。

10月2日（水）は、本校グラウンドにて、松翔祭スポーツの部（中高等部）を開催しました。秋とは思えないほどの強い日差しの中、小中児童生徒が混じり合った8色のチームに分かれて競技に臨みました。運動場は、暑さを跳ね返す子供たちのたくさんの笑顔に溢れていました。富士市内では本校でしか経験できない小中の縦割り種目、そして学級対抗の種目でも、児童生徒会のスローガン「常笑気流」にあるように、競技自体を楽しむ輝く笑顔、仲間や下級生を気遣う温かな笑顔が運動場に溢れていました。

初等部の子供たちは、どうだったでしょうか。少し前になりますが、1・2年生の有無瀬川探検が9月5日にありました。晴天の中で、子供たちの弾けるような明るい笑い声が響いていました。驚いたのは、子供たちが、自分なりの楽しみを見つけて、夢中で遊んでいる姿を目にしたことです。本校の子供たちの柔軟な発想力に深く感心し、頼もしく思いました。もう一つ忘れてはならないのが、たくさんの保護者・地域の皆さんが、子供たちを注意深くかつ温かく見守り、その上子供たちと一緒に遊んでくれたことです。さらに、有無瀬川の危険なポイントを熟知しているからこそできる活動範囲の決定をしてくださったことも特筆すべきことです。



昨今の報道される教職員不足は、ここ富士市、そして本校も例外ではありません。そうした中で、保護者・地域の皆様に、川探検では安全を確保しながら子供たちと共に遊んでいただき、スポーツの部ではテントなどの準備片付けを率先してやっていただき、先日のクリーン作戦では子供では手の届かない所までピカピカにしていいただき、研究授業中の子供たちの見回りもしていただく等、力強いバックアップをいただけるこ

とは、本当にありがたいです。だからこそ、富士市初の施設一体型小中一貫校である本校が、安心して新しいことに挑戦し続けられるのだと思います。ありがとうございます。15日（火）からスタートする後期も、ぜひ変わらぬご支援いただけますようよろしくお願い致します。

冬季休業

12月24日(火)～1月5日(日)